

敢えてするに勇なれば、則ち殺。敢えてせざるに勇なれば、則ち活。此の兩者、或いは利あり、或いは害あり。天の悪む所、孰か其の故を知らん。天の道は、争わずして善く勝ち、言わずして善く応じ、招かずして自ずから来たし、緘然として善く謀る。天網恢恢、疎にして失せず。

【大体の意味内容】勇敢に立ち向かえば、直ちに滅ぼされることもあるし、勇敢に逃げれば、助かった命を何かに活かすこともできる。とはいえ、リスクはあっても立ち向かうことに利がある場合もある。助かって使命を全うしても、誰かにとっては有害な影響を及ぼされることあろう。どちらにおいても、利害はそれぞれあつて、天が何を憎むかは、我々には諮り知ることはいできない。

「天の道」というべき無為自然の道理は、利害を超えている。争うことなくしてよく勝つこと。つべこべ言わずとも、よく人々の期待に応える。招かずとも、人が寄り来たる。悠然と構えながらも、緻密な計略を立てている。このためには、ことさらに功績をひけらかさうとはせず、無為自然に事は成るのだとわきまえ、そのように努力するものだ。この世に張り巡らされた天道の網は、広大無辺、おおらかにして、しかも水も漏らさない。

勇敢とは「敢えて勇む」と訓みます。突き進むにせよ後退するにせよ、ことさらに意思を働かせて行かう人としては、必ずプラス面もあれば、マイナス面も伴う。極力人為を排して、天即ち宇宙

の摂理に従うことが、絶対的な価値にたどり着けることになる。そうしたことは実は、はるかか

なだの、手の届かない高根の花であるのではなへ、日常昇近の「日常」遍在しているのだという
ことなのでしよう。

「日常」でまだまだ「三鷹の森ジブリ美術館」のリーフレットを見ました。そのキャッチフ
ーズに惹かれて、思わず一部もらって来ました。

「迷子になるという、いうことだ。」

さすがだなあ、と思いました。森や山に入って方向とか目的地がわからなくなった、旅先で
も道に迷ったり、或いはどちらに行こうか選択に迷ったり、そうした非日常的なことや、日常昇
近の生活の中でもあれこれ迷ったりするのが、生きている醍醐味なのでしよう。

少なへとも、「迷」のは悪いことばかりではありません。直撃に努力しているからこそ、大い
に迷うこともありますね。自分の意思や判断では決められなくなってしまつ状況。何か自分で
ないものに翻弄なれているような、世界そのものが遊働していつか入流されているような感覚。
それは案外、「天の道」が働きかけてくれている状況なのかもしれません。逆らわずに流されてみ
るのも一興でしよう。かえって勇氣がいらしますが…

